

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(団体用)

I 基本事項

整理番号 163

事業名	連合自治会活動補助金		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	総務部	総務課		款	総務費・2款
電話	0799-43-5001			項	総務管理費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)		目	自治振興費・12目
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	人づくり 知恵あふれ 郷土愛が満ちるまちづくり			
	まちづくりの目標	大好き ふるさと南あわじ【郷土愛】			
	施策目標	地域コミュニティや世代間のふれあいを通じ、互いの人権を尊重し、感謝・思いやりのある人を育てる			

II Plan&Do (計画・事業内容、団体内容、投入資源)

事務概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人を、構成員内訳)			
		南あわじ市連合自治会			構成人数(人) 53,374
		活動目的(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 市連合自治会及び市連合自治会支部に南あわじ市連合自治会活動補助金を交付することにより、各自治会の円滑な運営及び事業の推進を図ることを目的とする。			
	実施内容	(主な事業、活動内容等) 南あわじ市連合自治会会員相互の親睦を図り、市政運営の重要(基幹的)組織として市政の浸透に協力し、又市民の要望を伝え、円満なる市政の運営に寄与するため、市が補助金を交付することにより自治会の円滑な運営及び事業の推進を図る。			
	団体の概要	(どのような団体か、活動目的、活動内容など) 市連合自治会、市連合自治会各支部(緑・西淡・三原・南淡)、地区数21、単位自治会203で構成。自治会の共通する諸問題に対処し、県連合自治会及び淡路地区連合自治会の運営に協力し、自治会活動の向上を図る。又、健全な青少年の育成に努め、自己実現や社会参加をめざした地域づくりに努める。			
		事務局の所在 (直接事務執行部署)	<input type="checkbox"/> 補助団体	<input checked="" type="checkbox"/> 市役所	<input checked="" type="checkbox"/> 市単位 (総務部総務課) <input checked="" type="checkbox"/> 旧町単位 (各総合窓口) <input checked="" type="checkbox"/> 旧村単位 (出張所・各連絡所・南淡公民館)
	補助金算出根拠	市連合自治会活動補助金 1,243千円 緑支部活動補助金 2,057千円 西淡支部活動補助金 3,882千円 三原支部活動補助金 4,847千円 南淡支部活動補助金 6,357千円 合計18,386千円 【単位自治会数割金額(27,000円)・地区役員数割金額(49,000円) ・世帯割金額(580円)】			
補助交付期間	<input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし				
合併協議事務調整内容	(合併前におけるの事業実施団体と合併時における事務調整経緯)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 旧緑町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧三原町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 活動補助金は、合併協議会の部会・分科会において、旧三原町の補助金をベースに検討した結果。				

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
資源配分 インパクト	直接事務費 (千円)	20,428	20,428	18,386	18,386
	連合自治会活動事業費	20,428	20,428	18,386	18,386
	事務局事務費(市が事務局の場合)				
	財 源 (千円)				
	国				
	県				
	起債				
	その他				
	一般財源[A]	20,428	20,428	18,386	18,386
	人件費(正規職員)[B] (千円)	13,508	13,156	13,244	13,244
	平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.1	30.1
	事業量1(事業に要した日数)	40	40	40	40
	事業量2(事業に要した人数)	11	11	11	11
	年間経費([A]+[B])	33,936	33,584	31,630	31,630
「構成人数」一人当り経費 (千円)	0.6	0.6	0.6	0.6	
受益者人数(53,374)1人当り経費(千円)	0.6	0.6	0.6	0.6	
経費に関する 補足説明					

Ⅲ Check (事業の自己評価・一次評価)

費用対効果	(費用対効果の分析、問題点・課題などを記入。) 住民の福祉増進のため行政活動の円滑な推進に対する協力をし、活動量も多いので、費用対効果は高い。	自己評価 (5点評価)
		4
必要性	公共性の高低 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 (公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 南あわじ市発展のため行政の運営に協力し、市民ニーズを取りまとめて市に要望している。	自己評価 (5点評価)
		5
総合評価	<p>自己評価をふまえた現状分析</p> <p>市民が「安心して生活することができる地域づくり」を目指して、地域住民の福祉向上や相談事、住民と行政のパイプ役として、日夜その調整等を無報酬で実施している。</p> <p>また、市が依頼する各種文書等の配布・回覧、全島一斉清掃、災害情報の連絡または応急処置、大会や研修会参加の啓発、各種調査員・委員等の推薦など幅広く公的な活動をし、その活動に対する費用対効果は非常に高く、また公共性に富み、自治会組織への支援は、自治体にとって特に必要性がある。</p>	<p>評価グラフ</p> <p>費用対効果: 4 必要性: 5</p>

IV Action&Plan (改善・改革の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減
	<p>自治会は、地域住民の福祉向上や相談事さらには住民と行政とのパイプ役として、日夜その調整等無報酬で活動されているので、今後とも、その高い公益性の観点からも活動経費については市が補助していく必要がある。</p>	<p>同左</p>
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果		
(現状維持の場合も記入)	<p>仮に補助金、交付金を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 補助金を廃止した場合は、市自治会との調整等が非常に困難。</p>	